

# 日本社会保障法学会会報 第22号

発行日：2007.4.1 発行人：良永彌太郎 編集人：石橋敏郎 発行：日本社会保障法学会  
事務局住所：〒862-8502 熊本県熊本市月出3-1-100 熊本県立大学総合管理学部気付  
Tel：096-383-2929(代表) Fax：096-383-2966 E-mail：social-security@pu-kumamoto.ac.jp  
URL：http://www.soc.nii.ac.jp/jassl/ 会員数：634名(2007年4月1日現在)

**代表理事就任のご挨拶** 代表理事 良永彌太郎(熊本大学)

## 「時代はそれぞれの問題をもつ。」

昨年12月に代表理事に就任致しました。任期中、学会運営のお手伝いをさせていただきますのでよろしくお願い致します。

本学会が社会保障法研究会(1977年10月発足)を母体として創立されたのは1982年5月ですから、今年の5月で創立25年目となります。学会としてはまだ大変若いのですが、それでもこの間、会員数はすでに600人を超え、運営体制も一層整備され、学会誌は第13号(1998年5月)から法律文化社の協力を得て発行できるようになり今年で第22号となり、本学会の総力を結集しての講座社会保障法全6巻がすでに刊行されています。また第46回大会(2004年10月)の「グローバル化と社会保障法」というテーマでのシンポジウムではドイツからフォン・マイデル教授をお招きして国際交流講演をして頂き、昨年10月の第50回大会では学際的な記念シンポジウムが開催されるなど、本学会は着実に充実・発展してきています。社会保障法研究会から本学会創立、およびその後の充実・発展は、会員の皆様及びこれを主導された先達の諸先生方の熱意とご苦勞があったればこそ、と考えております。

1950(昭和25)年の社会保障制度審議会勧告の序説の冒頭には、「時代はそれぞれの問題をもつ。」と書かれています(大内兵衛会長)。本学会学術大会の共通テーマや個別報告等では、これまでまさにこの言葉のように時代が直面する「それぞれの問題」について、社会保障法学の視点から取り上げての研究報告が行われてきました。今度の第51回学術大会シンポジウムでは「若者」をキーワードとした共同研究報告が行われますし、次回では「子ども」を取り上げる予定で準備が進められています。いずれも「時代の問題」として大いに興味をそそられるところです。

言うまでもなく社会保障は、社会的・経済的基盤の変動に伴って常にその姿が変容していくといういわば宿命を抱えていますが、本学会は、社会保障法学の立場からの学術的貢献を通して、人々の生存権理念に裏打ちされた社会保障の権利の社会的実現と定着に寄与することが期待されていると思います(学会規約第3条)。

本学会には、事務局の他、企画委員会、学会誌編集委員会、国際交流委員会等の委員会が設置されて活動しています。学術団体としての本学会の運営及び充実・発展のために、今後とも会員の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

## 第51回春季大会開催案内 事務局長 石橋敏郎(熊本県立大学)

日本社会保障法学会第51回春季大会が下記の通り開催されます。皆様お誘い合わせの上ご参加いただけますようお願い申し上げます。

・日時：2007年5月19日(土) 9:30~17:00

・会場：法政大学(〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1)

大学までの交通、大学内の案内につきましては本会報末尾の地図をご参照ください。

総会・シンポジウム会場：58年館 3階 835番教室

・お問い合わせ先 Tel：03(3264)9719

・ **大会次第** (予定: 内容等の詳細につきましてはレジュメ集をご覧ください。)

受付開始	9:00
開会	9:30

**個別報告**

● **第一会場 ( 58年館 5階 855番教室 )**

○金碩浩 (日本福祉大学大学院)	9:30~10:30
「韓国 <sup>1)</sup> の公的扶助制度におけるワークフェアの構造と課題 ——国民基礎生活保障法における『自活事業』を中心に」	
司会: 笛木俊一 (日本福祉大学)	

● **第二会場 ( 58年館 5階 856番教室 )**

○福島豪 (大阪市立大学大学院)	9:30~10:30
「ドイツ障害年金の法的構造——障害保障と失業保障の交錯」	
司会: 菊池馨実 (早稲田大学)	

**共通テーマ・シンポジウム**

**「『若者』と社会保障——その法的検討に向けて」**

司会: 井上英夫 (金沢大学)  
国京則幸 (静岡大学)

○木下秀雄 (大阪市立大学)	10:40~11:20
「報告の趣旨: 『若者』と社会保障——その法的検討に向けて」	
○脇田 滋 (龍谷大学)	11:20~12:00
「『若者』と雇用保障: 教育、職業訓練と雇用保障」	

**休憩 (昼食)** ..... 12:00~13:00

**総会** ..... 13:00~13:30

開催校挨拶 ..... 13:30~13:40

**共通テーマ・シンポジウム (続き)**

○上田真理 (福島大学)	13:40~14:20
「『若者』と社会保険」	
○金川めぐみ (和歌山大学)	14:20~15:00
「『若者』と家族政策」	

**休憩** ..... 15:00~15:15

○シンポジウム	15:15~17:00
---------	-------------

**大会終了** ..... 17:00 (予定)

※同封の大会出欠確認はがきに必要な事項を記載の上、**2007年5月9日(水)**までにご返送いただきますようお願いいたします。

※昼食を希望される方は、大会出欠確認はがきの「2. 昼食」の「要」に○をつけてください。昼食を希望された方は、大会当日、受付にて昼食券を購入してください。代金は1,000円です。

※懇親会の参加を希望される方は、大会出欠確認はがきの「3. 懇親会」の「出席」に○をつけてください。懇親会の参加を希望された方は、大会当日、受付にて懇親会券を購入してください。代金は7,000円です。懇親会の会場は、ボアソナードタワー26階スカイホールです。

※本大会では、事務局の都合等により、託児コーナーは設けませんのでご了承ください。

## 企画委員会からのお知らせ 企画委員長 菊池馨実(早稲田大学)

昨年、第49回・第50回と2回連続して記念シンポジウムを開催した日本社会保障法学会も、今年は通常の方式に立ち返ってのシンポジウム開催となります。

第51回春季大会は、5月19日に法政大学で行われます(具体的な内容などについては本会報の大会次策をご参照ください)。今回は、最近その政策対応のあり方が争点となりながらも、社会保障法学の側からのまとまったアプローチがなされてきたとは言い難い「若者」に焦点を当て、『若者』と社会保障—その法的検討に向けて」と題して、木下秀雄・脇田滋両会員が担当理事となって準備を進めています。当然には法的概念として馴染みにくい面をもつ「若者」を軸として、どのような議論が展開されるか大いに注目されるところです。どうかご期待ください。

第52回秋季大会は、「育児支援と社会保障法」というテーマで、子育て・子育て支援のあり方をめぐって、山田晋監事と菊池がお世話役となって準備を進めています。

なお原則として毎行われている個別報告については、随時報告者を募集しております。積極的なご応募をお待ちしています。報告を希望される会員は、理事または企画委員にお申し出ください。個別報告をしていただく前に、本学会の会員を中心に構成された各地の研究会で準備報告をしていただきます。その節は企画委員会から最寄りの地域の研究会をご紹介しますので、ご相談ください。

昨年暮れに新たな企画委員会が立ち上がり、不肖私が委員長を拝命いたしました。甚だ微力ではありますが、全国各地域の若手中心に構成されている委員の方々のご意見を積極的に反映させつつ、実定法の一翼をなす学会として少しでも力量をつけていけるような企画を立てられるよう、鋭意努力いたす所存ですので、どうかよろしくお願いたします。

(若手会員の文献リストに関して)

企画委員会では、今後の企画立案に役立てるとともに、若手会員(40歳未満もしくは大学院入学後10年未満の会員)の業績を広く紹介するため、文献リストを作成し、毎号の会報に掲載しています。従来、原則として企画委員長宛にお送りいただいたもののみを掲載するとの方針を採ってきましたが、お送りいただく業績が少数にとどまり実際に発表されている業績との乖離が大きいことから、企画委員が独自に情報収集を行い、リストを作成することとしました。今回は、2006年1月以降に発表された論文や著書を対象にしています(当学会の学会誌掲載のものは除く)。ただし、企画委員会の限られた人員では情報収集能力に限界があり、いまだに不十分なリストであることは否めません。文献リストに掲載されていないもの(2006年1月以降のもの)、新規に発表されたものの現物またはコピーを、下記の企画委員長宛にお送りください。なお、お送りいただいた論文や著書の現物およびコピーは返却いたしません。

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1  
早稲田大学法学学術院 菊池馨実 宛

○若手会員文献リスト（2007年3月現在のもの、著者五十音順）

著者	題目	出典	発行年月
石崎浩	「既裁定年金の受給権に関する一考察」	『季刊労働法』216号	2006年12月
石田道彦	「医療保障と競争政策の交錯（2）」	『金沢法学』48巻2号	2006年3月
石橋敏郎・ 河谷はるみ	「社会福祉サービスに関する利用者満足度調査の意義とその問題点」	『アドミニストレーション』13巻1=2号	2006年12月
大沢光	「ドイツ社会法における聴聞の要件論の現在——ドイツ社会法典第10編24条1項『権利を侵害する行政行為』の解釈をめぐって」	『島大法学』49巻4号	2006年3月
尾形健	「憲法と社会保障法の交錯——憲法学からみた社会保障制度のあり方についての総論的検討」	『季刊社会保障研究』41巻4号	2006年3月
尾崎正利＝ 小西啓文	「三重県下における障害者雇用政策の進捗状況——障害者自立支援法を踏まえて」	『三重短期大学・地研年報』11号	2006年3月
尾澤恵	「憲法の家族規定と社会保障——EU 構成国における憲法の家族規定と家族政策の関係」	『季刊社会保障研究』41巻4号	2006年3月
葛西まゆこ	「生存権の財産権的アプローチ」	大沢・小山編著『東アジアにおけるアメリカ憲法』慶應義塾大学出版会	2006年9月
葛西まゆこ	「『日本型福祉社会』と個人の自律」	日本法政学会創立50周年記念論文集編集委員会『現代法律学の課題』成文堂	2006年3月
笠木映里	「公的医療保険の給付範囲（1）——比較法を手がかりとした基礎的考察」	『法学協会雑誌』123巻12号	2006年12月
笠木映里	「公的医療保険の給付範囲（2）——比較法を手がかりとした基礎的考察」	『法学協会雑誌』124巻1号	2007年1月
笠木映里	「医療・介護・障害者福祉と地方公共団体」	『ジュリスト』1327号	2007年2月
小西啓文	「ドイツ重度障害者法における労働能力の喪失を理由とする解約告知と障害を有する労働者の配慮請求権——横浜学校保健会（歯科衛生士解雇）事件東京高裁平17・1・19判決を契機として」	『三重法経』127号	2006年3月
関ふ佐子	「高齢者の終末期医療における自己決定——積極的な治療と緩和ケアの両立を求めて」	『横浜国際経済法学』14巻3号	2006年3月
関ふ佐子	「日米の在職高齢年金制度にみる差別禁止と特別な保障」	エイジフリー研究会編『エイジフリー社会の実現を目指して——年齢に中立な経済・社会の構築を』社会経済生産性本部	2006年7月
関ふ佐子	「アメリカの医療保障改革」	『長寿社会グローバル・インフォメーション・ジャーナル』3号	2007年1月

著者	題目	出典	発行年月
津田小百合	「社会保険料の労使折半に関する比較法的考察——ドイツにおける議論を例に」	『季刊社会保障研究』42巻3号	2006年12月
津田小百合	「介護保険と障害者福祉制度の将来」	『ジュリスト』1327号	2007年2月
中川純	「カナダ憲法における社会・経済権と社会保障制度をめぐる司法審査(1)」	『中京法学』40巻3=4号	2006年3月
中川純	「障害者に対する雇用上の『便宜的措置義務』とその制約法理——アメリカ・カナダの比較研究(3)」	『北海学園大学法学研究』41巻4号	2006年3月
原田啓一郎	「フランスにおける医療事故と社会保障——国民連帯による医療事故賠償・補償制度の構築(3)」	『駒澤法学』5巻2号	2006年1月
福島豪	「ドイツ障害年金の法的構造——障害保障と失業保障の交錯(1)」	『法学雑誌』53巻1号	2006年8月
福島豪	「ドイツ障害年金の法的構造——障害保障と失業保障の交錯(2)」	『法学雑誌』53巻2号	2006年11月

### 学会誌投稿論文の募集について 企画委員長 菊池馨実（早稲田大学）

学会誌投稿論文（「社会保障法」第23号掲載予定）を募集しています。奮ってご応募くださいますようお願い申し上げます。募集要領は、下記の通りです。

#### 記

- 1 学会誌に発表する論文は未発表のものに限ります。
- 2 投稿者は本学会会員に限ります。
- 3 投稿された原稿は、論文審査委員会が内容を考慮して選定した論文審査委員に、氏名を伏して審査を委嘱します。その結果に基づき、論文審査委員会が採否を決定します。採用された原稿の掲載方法等については、学会誌編集委員会で決定します。
- 4 採用にあたっては、より一層内容の充実を図るために、補筆や修正等をお願いすることがあります。
- 5 原稿の分量は、原則として、12,000字（200字詰め原稿用紙60枚）以内とします。
- 6 執筆要領は、別にお渡しします。応募ご希望の方は、学会事務局まで請求してください。なお、公正な審査を行うため、執筆者を特定・推定させるような表現はお避けください。たとえば、注の中で投稿者自身の執筆論文・著書を引用する場合には、「拙稿」といった表現は用いずに、他の執筆者の論文等の引用と同じスタイルで引用してください。
- 7 英文タイトルおよび英文要約（200語以内）を必ずつけてください。
- 8 投稿論文は、コピーを含め3部提出して下さい。提出された原稿は、採否にかかわらず返却いたしません。
- 9 締め切りは、2007年8月31日（必着）とします。
- 10 投稿原稿は、学会事務局気付「論文審査委員会」宛に、簡易書留にてご送付下さい。  
〒862-8502 熊本県熊本市月出3-1-100 熊本県立大学総合管理学部気付  
日本社会保障法学会事務局「論文審査委員会」宛

以上

### 学会奨励賞候補作品の募集について 企画委員長 菊池馨実（早稲田大学）

2007年度（第5回）学会奨励賞候補作品の推薦（自薦も含む）を、下記の要領で募ります。なお、推薦された候補作品は審査委員会で審査の上、受賞者は秋の総会で表彰いたします。

## 記

- 1 対象作品：2006年（1月から12月）に公刊された著書および論文
- 2 著者・筆者の年齢：当該著書・論文公刊時に35歳以下の会員
- 3 受賞者数：原則として1名
- 4 締め切り：2007年5月31日
- 5 推薦の通知先：〒862-8502 熊本県熊本市月出3-1-100  
熊本県立大学総合管理学部気付 日本社会保障法学会事務局宛

以上

### 学会誌編集委員会からのお知らせ 編集委員長 加藤智章（新潟大学）

学会誌22号につきましては、会員皆様のご協力により、現在（3月6日）のところ、公刊に向け鋭意努力中です。

昨年12月の理事会において、投稿論文の締め切りを1ヶ月早め、8月末日とすることをご了承いただきました。これは、修正依頼があった場合の時間的余裕を確保するためのものです。別途、投稿規定においてもご案内いたしますが、投稿を予定なさっている皆様はご注意ください。

51回春季大会においても、学会当日の昼食休憩時間を利用して、編集委員会を開催することになると思います。編集委員会の委員におかれましては、具体的な日時等についてメールでお知らせいたしますので、ご承知おき下さい。

### 理事・監事、代表理事の改選について 選挙管理委員長 水島郁子（大阪大学）

第13期理事・監事選挙、「推薦理事」の選出結果、ならびに代表理事選挙の結果をご報告いたします。

#### （理事選挙）

- ・開票場所 大阪市立大学法学部棟9階共同研究室
- ・開票日時 2006年8月30日（水）13:00～16:00
- ・有権者総数 548名、投票者総数 130名
- ・有効投票数 631票（白票数 19票）、無効投票数 0票
- ・選挙結果（50音順・敬称略）

当選	秋元美世	阿部和光	石橋敏郎	井上英夫	岩村正彦
	江口隆裕	加藤智章	河野正輝	菊池馨実	木下秀雄
	倉田 聡	瀧澤仁唱	西田和弘	西村健一郎	橋本宏子
	久塚純一	笛木俊一	本沢巳代子	良永彌太郎	脇田 滋

次点 浅倉むつ子、神尾真知子、田村和之

※瀧澤仁唱、西田和弘、浅倉むつ子、神尾真知子、田村和之各会員は同点得票だったため、抽選により瀧澤会員と西田会員が当選、浅倉会員、神尾会員、田村会員が次点となりました。

#### （監事選挙）

- ・開票場所、日時 理事選挙に同じ
- ・有権者総数 548名、投票者総数 130名
- ・有効投票数 258票（白票数 21票）、無効投票数 2票
- ・選挙結果（50音順・敬称略）

当選 大曾根寛 山田 晋

次点 矢嶋里絵

※本沢巳代子会員と矢嶋里絵会員が同点得票でしたが、本沢会員が理事に当選したため、矢嶋会員が次点となりました。

### (「推薦理事」の選出)

2006年10月13日開催の理事会（南山大学名古屋キャンパスA棟（法科大学院棟）2階会議室、18:00～）において、学会規約第8条4項および理事会議事録（「推薦理事の推薦手続き」）に基づき、選挙選出理事による5名連記の投票によって10名の推薦理事が選出されました。

・推薦理事選出結果（50音順・敬称略）

石田道彦	片桐由喜	今野順夫	品田充儀	新田秀樹
林 弘子	藤原精吾	古橋エツ子	水島郁子	矢嶋里絵

※翌日（14日）、総会の承認を受けました。

### (代表理事選挙)

・開票場所 大阪市立大学法学部棟9階木下秀雄研究室

・開票日時 2006年10月30日（月）13:50～

・有権者総数 32名、投票者総数 25名

・有効投票数 25票（白票数 0票）、無効投票数 0票

・選挙結果（敬称略）

当選 良永彌太郎

次点 岩村正彦、久塚純一

## 日本社会保障法学会理事会議事録要旨 日本社会保障法学会事務局

### ○2006年度10月定例理事会

・日時：2006年10月13日（金）16:00～18:00

・場所：南山大学名古屋キャンパスA棟（法科大学院棟）2階会議室

・議事内容

①第51回春季大会の運営について（略）

②第52回秋季大会の運営について（略）

③第53回春季大会以降の運営について（略）

④学会誌編集委員会より

加藤学会誌編集委員長より、学会誌第22号の目次、学会誌投稿論文等についての報告。

⑤日本学術会議関連の動きについて

連携会員である井上理事より、最近の日本学術会議の動向についての報告。

⑥2006年度会計中間報告

脇田会計担当理事より、2006年度会計の中間報告。

⑦第13期日本社会保障法学会理事・監事選挙について

木下事務局長より、選挙結果の報告。

⑧入会者承認、退会者報告（略：下記の入退会者紹介をご覧ください）

### ○2006年度12月定例理事会

・日時：2006年12月16日（土）16:00～18:00

・場所：京都大学人間環境学研究科研究棟433号室

・議事内容

①第51回春季大会の運営について（略）

②第52回秋季大会の運営について（略）

③第53回春季大会以降の運営について（略）

④学会誌編集委員会より

加藤学会誌編集委員長より、学会誌第22号のタイトル、学会誌投稿論文等についての報告。

⑤国際交流委員会より

林国際交流委員長より、英文パンフレットについての報告。

⑥日本学術会議関連の動きについて

連携会員である林理事より、最近の日本学術会議の動向についての報告。

⑦事務局の一部事務委託について

石橋事務局長より、事務局業務を一部外注することについての報告。

⑧入会者承認、退会者報告（略：下記の入退会者紹介をご覧ください）

**事務局からのお知らせ** 日本社会保障法学会事務局

**○長期滞納者の退会処理について**

2006年6月の理事会において、次のことが決定されました。学会規約第7条「会員は、総会の定めるところにより、会費を納めなければならない。会費を滞納したものは、理事会において、退会したものとみなすことができる」との規定に基づき、3年度分以上滞納した会員については、理事会での議論を踏まえて、会費納入の督促を行い、それでも会費の納入がない場合には退会者とみなすこととなりました。会員各位のご了解とご協力を宜しくお願いいたします。

**○学会費振替手数料の会員負担について**

2006年度の会費より、学会の財政負担軽減のため、学会費振込手数料につきましては、各会員の負担とさせていただいております。会員各位のご了解とご協力をお願いいたします。

**○英文パンフレットについて**

英文パンフレットのデザインが新しくなりました。同封いたしましたのでご活用ください。さらにご入り用の方は事務局までメールでご連絡ください。

**○次回以降の学会大会について**

第52回秋季大会は、2007年10月13日（土）立命館大学にて開催される予定です。

**○学会誌バックナンバーについて**

学会誌につき、引き続き、皆様所属の図書館やご近所の図書館等で購入希望を出していただければ幸いです。ご注文につきましては、1号から12号までは事務局に、13号以降は法律文化社営業部（Tel：075-702-5830）にお問い合わせください。バックナンバー1号から12号までの在庫数は、学会ホームページにてご確認ください。

**○事務局移転について**

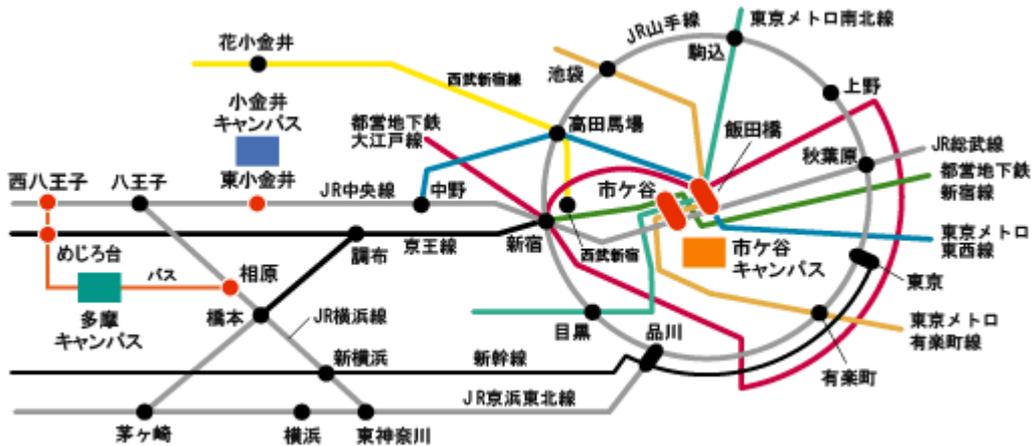
昨年秋の総会でお知らせいたしましたとおり、2006年12月1日より学会事務局が熊本県立大学に移転しました。何かと不手際があるかと存じますが、できるだけ皆様にご迷惑をかけることなく務めて参ります。事務局へのご連絡には、Eメールをご利用いただけると幸いです。今後とも学会運営にご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

**入退会者紹介** 日本社会保障法学会事務局

- ・2006年10月13日、12月16日の定例理事会で、次の方々の入会が承認されました。  
（順不同、敬称略）  
荒木紀代子（熊本県立大）  
川島聡（新潟大院）  
岡田麻衣子（金沢大院）
- ・2006年10月13日、12月16日の定例理事会で、次の方々の退会が報告されました。  
（順不同、敬称略）  
川村峰子、中西けい子、今村芳乃

# 学会開催会場 キャンパス案内

## 法政大学キャンパス アクセス図



## 日本社会保障法学会開催会場 法政大学市ヶ谷キャンパス富士見校舎



東京都千代田区富士見 2-17-1 〒102-8160

TEL 03-3264-9240

## <交通案内>

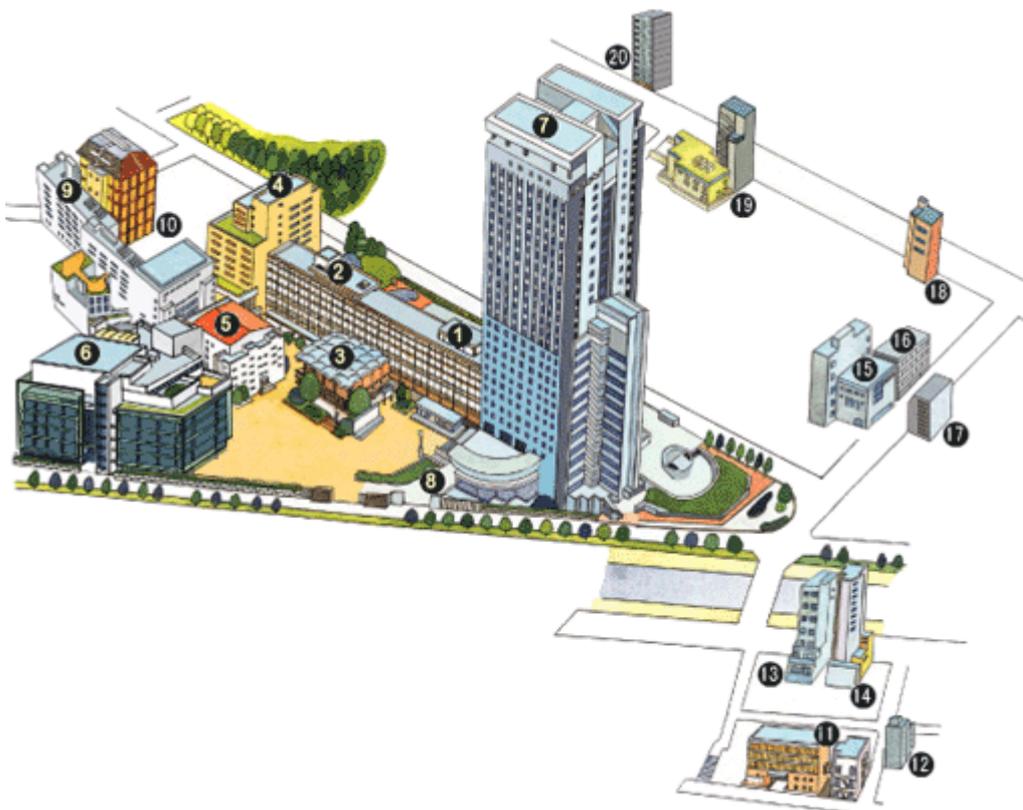
### 【JR 線】

- 総武線：市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩 10 分

### 【地下鉄線】

- 都営新宿線：市ヶ谷駅下車徒歩 10 分
- 東京メトロ有楽町線：市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩 10 分
- 東京メトロ東西線：飯田橋駅下車徒歩 10 分
- 東京メトロ南北線：市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩 10 分
- 都営大江戸線：飯田橋駅下車徒歩 10 分

## 市ヶ谷キャンパスマップ



- (1)55 年館 (2)58 年館 (3)ピロティ (4)80 年館<図書館> (5)第一校舎 (6)外濠校舎  
(7)ボアソナード・タワー (8)守衛所 (9)富士見坂校舎 (10)総合体育館